

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度施策評価結果一覧表

基本目標1 あびこを支える産業を応援し、いつでも働けるまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	R4目標	R4実績	達成状況	有識者評価	有識者コメント
4-2 就労支援の充実	企業立地推進課	地域職業相談室が紹介した人が就職した割合	%	19.5	21.5	達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域職業相談室が紹介した人が就職した割合」について、施策評価表の所管課コメントで「新型コロナの感染拡大が落ち着きを見せ、以前の経済活動が戻りつつあることから、求人が増えていることが目標達成の一因」としているが、参考資料から確認すると就職者数自体は新型コロナ前と比較すると減少したままなので、これを踏まえた記載内容とすべき。新型コロナが関係しているのかも含めて確認が必要。 ・「働きやすい職場づくりを実践する企業として国の認定を受けた事業者数」の指標の達成に向けては、市による一定規模以上の企業への働きかけが必要。目標達成に向けて何社にアプローチしてこの結果だったのかというのが見えてこない。 ・企業イメージが上がる以上のメリットが享受できるのか、認定を受けるメリットをいかに伝えられるかが重要。認定を得るためには企業側の負担もあることなので、実務の面への支援も含めて行政がどのようにアプローチ可能なのか考えていただきたい。 ・「障害のある方の福祉的就労から一般就労への移行者数」について、障害者にも様々なケースがあり、それぞれの方が自分に合った形で就職できることが大事であって、本来であればその割合などが指標として適切である。就労支援センターの利用が少ないからといって施策として「未達成」とマイナスのイメージで表現することには抵抗がある。
	企業立地推進課	働きやすい職場づくりを実践する企業として国の認定を受けた事業者数	件	3	3	達成		
	障害者福祉センター	障害者の就職後6か月経過時の職場定着率	%	100	100	達成		
	障害者福祉センター	障害のある方の福祉的就労から一般就労への移行者数	人	19	6	未達成		
4-3 商工業の振興	商業観光課	商店街団体等への年間支援件数	件	16	16	達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ・「商店街団体等への年間支援件数」について、所管課コメントにある「イルミネーションや非接触スタンプラリー等の新たな取組みを誘導」とあるが、毎年繰り返しの単純な設置や実施ではあまり効果が期待できない。SNSの活用など、限られた予算の中でもあまり労力や費用をかけずにできる方法もあるはずなので、ある程度市がリードしてあげなければ商店街は活性化に向けて変革していかないのではないかと感じる。 ・新しいにぎわいづくりを補助していくという目的の補助金なのであれば、これに特化した取組を推進すべきであるし、その実績がわかるよう表現してもらいたい。ただ、最近解散する商店街も多いので、イルミネーションやスタンプラリーにどれだけ効果があるのかは疑問だが、まずは商店街組織を維持してもらうことが大事であろうと感じる。 ・新型コロナ禍において、人の集まる大型商業施設ではなく、身近な商店街を利用する機会が増えたことでその魅力に気付いた方も多くいると想定されるが、この関心の高まりを一過性のものとせず、いかに継続していくかが重要となる。生活が通常に戻りつつある中で、住民の方々はイベントに参加したい志向が高まっており、新たなことを実施する良いタイミングとなっているので、ただ補助金を交付するだけではなく、今の大切な時期だからこそ、新たな取組や運営をサポートしていただけるような体制にしていきたい。 ・活性化に関する補助金の実施内容として湖北の市の紹介があったが、この取組では地域住民の方が住んでいるエリアを盛り上げたいと一緒に取り組んでいると伺った。地元商業の活性化に向けたアイデアコンテストを行うなど、事業者だけではなく地域住民を巻き込んだ取組を推進してはどうか。
	商業観光課	市内の事業者数(納税義務者数)	件	4,360	4,483	達成		
	企業立地推進課	「我孫子市創業支援等事業計画」に基づく支援により起業・創業した累計件数	件	65	72	達成		
	企業立地推進課	「我孫子市中小企業資金融資制度」の設備投資に係る新規融資件数	件	20	19	未達成		
4-1 企業立地の推進	企業立地推進課	創出した産業用地で働く市民の数	人	0	0	達成	良好	<ul style="list-style-type: none"> ・「創出した産業用地で働く市民の数」では、柴崎地区の産業用地に企業が立地し動き出すまで指標が目標、実績ともにゼロのまま推移していくので、今後は何か状況を測れるような資料があると良い。
	企業立地推進課	企業立地に対する支援制度を活用した企業数	件	0	0	達成		
4-4 農業の振興	農政課	農地利用集積面積	ha	294.6	278.3	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ・「新規就農者の経営体数」について、他の産業から農業を開始した方は、ノウハウが蓄積されておらずフォローや連携が課題となっているため、既存の農業者との交流が図れる機会を提供するなど、連携できる体制づくりが必要。 ・地元で消費される野菜は産地のブランド化などがなくても十分に評価してもらえると感じており、最近では大手小売店でも地元野菜のコーナーが多く見られ、販路も整ってきているのではと感じる。承継の点では厳しい産業を継がせたくないという考え方も聞かすが、IT農業も含めた若い農家の方の新しい業態の広がりや、地元野菜に対する消費者の評価の高まりなども踏まえると、数字としてもまだまだ伸びる可能性があり、こういった点を認知してもらえると、新規就農を考えている方の農業に対するイメージが少し変わるのではないかと感じる。 ・小規模であるからこそ手間暇をかけられて美味しいものが作れるという側面もあると思われるので、そういった視点でアプローチしていくことも有効と感じる。 ・「あびこエコ農産物栽培の認証を受けた農業者数」について、あまり数字が伸びていない状況だが、販路の工夫を市が示してあげることでPRになるのではないかと感じる。小売店では、すでに商品のラインナップが固定してなかなか新たに扱ってもらえないということもあるが、販路は小売店にだけにとらわれる必要はなく、喫茶店やパン屋さんなどに「エコ認証を受けた野菜ですよ」と持ち込めば売れる可能性はあるのではないかと感じる。 ・「農産物直売所年間売上」では、コロナ禍の内食需要の影響もあって目標値を上回っているが、今後も数字を伸ばしていくためには、期間限定の商品を打ち出すなど、集客に向けたさらなる取組が重要になってくると考えられる。 ・農業の振興という大枠だけでなく、もう少しブレイクダウンした形で、5年後にこうなっていきたい、こうあるべきだという中期経営計画的なビジョンがあると、課題や達成状況がよりクリアになってくると思われる。
	農政課	新規就農者の経営体数	人	22	23	達成		
	農政課	「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	人	32	27	未達成		
	農政課	農産物直売所年間売上	千円	230,895	272,626	達成		

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度施策評価結果一覧表

基本目標2 あびこの魅力があふれ、にぎわいを生むまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	R4目標	R4実績	達成状況	有識者評価	有識者コメント
5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上	建築住宅課	市営住宅の入居率	%	93.2	89.2	未達成	良好とはいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・「空き家バンク累計登録件数」について、我孫子市の空き家バンクのチラシを見ると、空き家を放置することによる倒壊の危険性や治安の悪化など、ネガティブな情報から空き家を抑制する方向性が見受けられるが、空き家を活用することによる金銭的なメリットなど、家主にとって得になるようなPRも効果があるのではないかと感じる。定住化策で行っているように、この制度を活用して引っ越してきた家族の事例や、逆に家主側も制度のおかげで資産活用ができた事例などを情報発信していったらよいのではないかと感じる。 ・空き家を貸し出すことをメインに想定されていると思われるが、住宅メーカー側や若い移住者からは、新築需要の方が高い可能性もあるので、その点も考慮する必要がある。 ・駅前の新しいマンションなども入居者は市内移住者が多いと聞いており、人口の増加につながっていない面もあるので、もっと市外からの移住者を増やすことができれば、空き家の活用にも相乗的に効果が出てくるのではと感じる。 ・「市営住宅の入居率」について、エレベーターが設置されていないことから、高齢者や子育て世帯にとって利用は厳しく、高層階の部屋が空いてしまうとなかなか埋まらないであろうことを考慮すると、今後も目標の達成は困難ではないかと感じる。 ・施策全体を通して、今の我孫子の住環境の質の向上についてもっとできることはあるのではという意見が多かった印象であり、今後期待したい。
	建築住宅課	空き家バンク累計登録件数	件	10	10	達成		
5-5 利用したくなる公園の整備	公園緑地課	公園・緑地の面積	ha	150	150	達成	良好	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民手づくり公園の活動団体数」について、高齢化により解散した団体があったとあるが、おそらくすでに活動の中心は高齢者であり、高齢化が理由で解散するのであれば、今後増えていく見込みは無く、指標と現実乖離していく一方ではないかと感じる。 ・この施策の本旨は、所管課が公園緑地課であることから、公園を適切に管理するということであり、市民の参加を促すことは副次的なものと思われるため、本来であれば公園を整備した面積や遊具の整備件数などでシンプルに測るのが適切。 ・「手賀沼公園のオープンカフェ」について、手賀沼公園内にさらに店舗数を増やしていくべき。市としては現在出店している店舗との競合を避けたいという思いがあるのかもしれないが、逆に1店舗だけでは、時間が経つにつれ集客性が落ちていく可能性がある。エリア内で複数店舗が共存して出店していることで、利用者も選択肢が増え、滞在時間が長くなったり、公園に行ってみようという動機付けにもつながるのではないかと感じる。 ・店舗の外観が一見カフェと認識しづらく、車で通った方にはなかなか気づいてもらえないのではという印象。良い商品を提供していることは認識しているので、外観を工夫するとさらに利用者が増えるのではと感じる。
	公園緑地課	市民手づくり公園の活動団体数	団体	11	10	未達成		
	公園緑地課	市民手づくり公園の数	園	13	12	未達成		
6-2 自然環境の保全	手賀沼課	手賀沼のCOD年平均値	mg/L	7.7	10.1	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ・この施策に設定されている指標は、取り組みやすいものあれば、今の段階では手が付けられないものなど、色々と事情があることが垣間見えるが、そういったことも所管課の事後評価コメントの中で書いてあると評価する側としてもわかりやすいと感じる。 ・「緑の確保量」について、生産緑地の指定解除に伴い減少し、未達成となっているが、宅地として有効活用されるのであれば、移住・定住の促進にもつながり、市全体として考えれば悪い話ではないのではないかと感じる。 ・毎年一定面積増やしていくような目標値設定となっているが、生産緑地の指定解除の時期は前からわかっているはずなので、本来であればそれを見越した目標値設定をすることが適切である。 ・生産緑地は市街地の一角にある用地なので、まとまった面積もなく、耕作しても生計を立てられるほどの規模ではない。緑が減っていくという見方もあるが、転売して開発されることでその地域が活性化されることを考えれば逆にプラスだともいえる。農業も高齢化が進み、有効に使用される農地が少なくなってくる中で、本当に保全しなければいけない農地と、都市的利用に転換すべき農地との住み分けをしっかりと行うべき。少なくとも、駅周辺の土地を緑として保全することが本当に大事なのかということは考える必要があると思われる。
	生活衛生課	市内で生育・生息している特定外来種の確認数	種	18以下	18	達成		
	公園緑地課	緑の確保量	ha	1,573	1,562	未達成		
	手賀沼課	手賀沼清掃参加団体	団体	19	19	達成		
	手賀沼課	環境レンジャーの市民参加型環境啓発活動の企画数	回	7	7	達成		
	公園緑地課	みどりのボランティア登録者数	人	432	458	達成		
	公園緑地課	古利根沼水辺清掃参加者数	人	20	15	未達成		
	治水課	利根川河川清掃参加者数	人	113	82	未達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	R4目標	R4実績	達成状況	有識者評価	有識者コメント
戦略的なシティプロモーション	秘書広報課	魅力度(地域ブランド調査順位)	位	567	615	未達成	概ね良好	<p>・指標として「地域ブランド調査」の順位や点数を用いているが、全国の回答者による評価を指標として設定することによってだけ意味があるのか疑問。北海道や九州の方の我孫子市に対する認知度などを測ったところで、実際に我孫子市が移住・定住のターゲットとしたい層とはリンクしていないはず。さらに、認知度はネガティブなニュースでも上がるものであることを考えれば、指標として適切ではない。東京で我孫子市の動画を目にしたこともあり、色々と頑張っており取り組んでいることは理解できるので、それがしっかりと評価できるような指標を設定しないと自分たちが損をするのではないかと感じる。</p> <p>・企業においても、首都圏をターゲットに戦略を打っていくときに、地方のデータが多分に含まれてしまっている全国平均値を参考にすることはない。我孫子でいえば、東葛地区など近隣のデータを参照して、そこで負けているものがあれば頑張らなければいけないし、飛びぬけているものがあれば、それが我孫子の魅力であると評価できるのではないかと感じる。子育て分野などは流山に次いで認知度もあると思うので、適切なデータを用いて評価すべき。</p> <p>・所管課のコメントでは、地価の上昇や人口の社会増を成果として評価しているが、地価の上昇を狙ったプロモーションをしているわけではないであろうし、安易に施策の効果があったとは言えない。もっと深く考察する必要がある。</p> <p>・「あびこの魅力発信室が発信した情報のWEBニュース等での掲載回数」について、回数ではなく、どんなメディアに掲載されたかが大事である。広告代理店などが用いる広告換算価値のようなもので測ることができれば成果もわかりやすいものと思われる。</p>
	秘書広報課	魅力度(地域ブランド調査点数)	点	6.2	5.7	未達成		
	秘書広報課	認知度(地域ブランド調査順位)	位	247	252	未達成		
	秘書広報課	認知度(地域ブランド調査点数)	点	34.4	33.8	未達成		
	秘書広報課	情報接触度(地域ブランド調査順位)	位	266	345	未達成		
	秘書広報課	情報接触度(地域ブランド調査点数)	点	21.8	18.6	未達成		
	秘書広報課	居留意欲度(地域ブランド調査順位)	位	346	382	未達成		
	秘書広報課	居留意欲度(地域ブランド調査点数)	点	6.0	6.2	達成		
	秘書広報課	あびこの魅力発信室が発信した情報のWEBニュース等での掲載回数	回	143	556	達成		
4-5 交流・関係人口の拡大	商業観光課	観光イベント来場者数	人	232,250	32,000	未達成	概ね良好	<p>・「交流人口」は、単純なイベントの来場者数ではなく、消費活動のあった人数を指すものだが、それを行政が正確に把握するのは難しく、他市ではDMO、観光協会、商工会などが担っている例もある。イベントの来場者数自体は、新型コロナも落ち着き、これから数字が大幅に伸びてくると思われるが、どれだけの人が地域にお金を落としかをしっかりと把握しなければ、商業者サイドからしたらメリットがないことも多々あるので、満足度は低くなる点に留意する必要がある。</p> <p>・物価が上がって一人あたりの消費額も上がっていることから、市内での消費動向について意識することは重要。それがわかる指標があれば本来望ましいが、キッチンカーの売上など、参考資料といった形でもいいので、今後は用意いただきたい。</p> <p>・新型コロナ禍でマイクロツーリズムという言葉が流行ったが、遠出を控えた消費者が近場のお店を利用するようになり、お店側も近隣の人をターゲットに切り替えた動きがある。自治体も市町村単位では、広域的に人を呼び込むことより、商圏が狭くても直接的に商業者にお金が入るような支援をすることの方が望まれていると考える。ただ一方で、新型コロナが落ち着いたこれからはインバウンドに対応した取組にも注力していく必要がある。</p> <p>・水の館の駐車場について、手賀沼周辺でイベントがあるといっぱいになってしまい、無料であることもあって、ほとんど回転していない状況が見受けられる。手賀沼公園のように有料とすることも含め対策を検討すべき。</p> <p>・ふれあいキャンプ場については、直営で運営しているとのことだが、今はキャンプの需要が高いので、しっかり整備して指定管理を導入すれば、収入増も期待できると思われる。</p>
	商業観光課	観光関連施設来場者数	人	510,066	527,195	達成		
	文化・スポーツ課	市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなぎちカップ参加者数	人	209	243	達成		
	文化・スポーツ課	ふれあいキャンプ場利用者数	人	8,942	5,682	未達成		
	商業観光課	観光意欲度(地域ブランド調査順位)	位	736	837	未達成		
	商業観光課	観光意欲度(地域ブランド調査点数)	点	15.8	14.7	未達成		
7-2 歴史文化財の保存・継承と文化の振興	文化・スポーツ課	文化芸術団体が開催したイベント(後援等)の入場者数	人	46,614	33,466	未達成	概ね良好	<p>・「めるへん文庫」について、我孫子は歴史的にも文人の活動が盛んであったという背景もあることから、「文学のまち」といったブランディングにもつながる非常に良い取組だと感じた。地方のまちのブランディングは、歴史と紐づけて今の時代に合った取組をしていくというのが、わかりやすく幅広い層からも受け入れられやすい。独自性もあるので、積極的に周知し、前面に押し出していきべき取組と感じる。</p> <p>・全国から130人の子どもが我孫子に向かって発信してくれていると考え、プラスに捉えてよいと感じる。もっとPRしてほしい。</p> <p>・我孫子は子育てに力を入れていることも加味し、絵本の部門も創設されるとさらに良いのではと感じる</p>
	文化・スポーツ課	市民文化祭の来場者数	人	14,462	6,350	未達成		
	文化・スポーツ課	めるへん文庫の応募者数	人	138	130	未達成		
	文化・スポーツ課	郷土芸能祭の入場者数	人	256	179	未達成		
	文化・スポーツ課	文化財施設等の年間見学者数	人	16,824	12,571	未達成		

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度施策評価結果一覧表

基本目標3 あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	R4目標	R4実績	達成状況	有識者評価	有識者コメント
3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	保育課	保育園等の待機児童数	人	0	0	達成	良好	・健診の受診率などは新型コロナの感染を避けるため受診を控えたという事情もあり、事業の問題というよりは社会情勢の影響というところが大きいので、今後を注視したい。
	健康づくり支援課	妊婦健康診査受診率	%	95.8	97.4	達成		
	健康づくり支援課	麻しん風しん予防接種対象者の接種率	%	96.8	89.5	未達成		
	子ども支援課	学童保育室入室許可割合	%	100	97.9	未達成		
	子ども相談課	緊急性の高い通告について48時間以内に調査を行った割合	%	100	100	達成		
3-2 子どもの成長に応じた発達への支援	こども発達センター	受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合	%	97	97	達成	良好	・働いている保護者は多く、平日の昼だけの対応だとなかなか都合がつかない方も多いのではと感じる。特例的に土日や平日でも夕方以降の時間帯に受け付けるということではできないのか。 ・相談や療育につながらなかったケースにおいて、保護者側が必要を感じないからという理由もあったようだが、子どもにとっては適切な支援を受けることが望ましいと思われるので、親サイドへの啓発、適切なアプローチが今後の課題と感じる。
3-3 魅力ある学校づくり	教育相談センター	不登校児童生徒への対応率	%	100	72	達成	良好	・幼小連携について、居住地と離れた園に通う子どももあり、園の近くの小学校に進学するとは限らない。高校や大学でも説明会やオープンキャンパスのような機会があるように、小学校でも、実際に通うこととなる学校で体験授業を受けたり、先生の顔が見られたりする機会があれば子どもたちも安心できるのではないだろうか。 ・特別な対応が必要な子どもたちは増加傾向にあり、問題が生じたタイミングで対応することも大事だが、幼年期から対策してそういった問題を発生させない取組も必要。幼少期に適切な子育てをすることは非常に大切で、根本的には社会全体で親が子どもと過ごす時間を増やすことを目指していく必要があるが、子どもへの適切な対応の仕方についての親へのアプローチや保育士の質の向上なども重要と考える。
3-4 心豊かにする体験・活動の推進	子ども支援課	あびっこクラブ登録率	%	54.6	52.14	未達成	良好	・あびっこクラブのチャレンジタイムにおいて、高齢のサポーターの方々に協力していただくのもいいが、現役の保護者世代の方々にも協力していただいて、5、6年生向けにキャリア教育、職業体験のような機会を提供できればいいのではないかと。
	子ども支援課	チャレンジタイムの平均実施回数	回	142.9	184.0	達成		
	子ども支援課	あびこ子どもまつりに参加した子どもの割合	%	8.33	8.33	達成		
	子ども支援課	げんきフェスタに参加した子どもの割合	%	5.16	3.48	未達成		
	図書館	学校への調べ学習支援件数	件	74	42	未達成		

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度施策評価結果一覧表

基本目標4 あびこにずっと安心して住み続けられるまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	R4目標	R4実績	達成状況	有識者評価	有識者コメント
2-2 健康づくりの推進	健康づくり支援課	特定健康診査の受診率	%	54.0	34.7 (R3)	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診について、国民健康保険加入者は自営業の方が多くと考えられるが、特に男性は必要性はわかっているが、なかなか腰が重い人も多いと思われるので、自営業の組合の集まりなどで、身近な人の体験談なども交えて啓発すると効果があるのではないか。 ・誰に対して情報発信するかという視点は重要。我孫子市の公式LINEは様々な情報を提供していて日ごろから有用だと感じているので、自営業の組合に加入している方などチャンネルを絞って検診のお知らせなどができたら効果的ではないか ・がん検診も同様に、自分と同年代の人が検診を受けたから助かったというような体験談を聞かせられたら心も動くのではないか。
	健康づくり支援課	特定保健指導の実施率	%	45	29.3 (R3)	未達成		
	健康づくり支援課	がん検診受診率	%	7.7	7.1	未達成		
	健康づくり支援課	救急搬送者の市内医療機関収容率	%	90以上を維持	97.4	達成		
2-3 高齢者福祉の推進	高齢者支援課	要支援・要介護認定率	%	18.2以下	17.8	達成	良好	
	高齢者支援課	きらめきデイサービス利用者数	人	1,367	916	未達成		
	高齢者支援課	認知症サポーター養成者数	人	13,738	72	達成		
	高齢者支援課	高齢者なんでも相談室への相談件数	件	29,114	31,514	達成		
7-3 スポーツの振興	文化・スポーツ課	市民体育館の延べ利用者数	人	167,671	151,377	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ・「新春マラソンの参加者数」について、学校単位の参加が減少していることを考慮し、家庭やクラブチームでの参加など、別の参加方法を推進する働きかけにも注力するべき。
	文化・スポーツ課	体育施設の延べ利用者数	人	79,150	84,893	達成		
	文化・スポーツ課	市民体育大会の参加者数	人	3,270	4,429	達成		
	文化・スポーツ課	チャレンジスポーツフェスタの参加者数	人	372	377	達成		
	文化・スポーツ課	新春マラソンの参加者数	人	1,642	1,105	未達成		
	文化・スポーツ課	地域スポーツフェスタの参加者数	人	352	220	未達成		
	文化・スポーツ課	ファミリースポーツテストの参加者数	人	218	99	未達成		
1-1 防災・減災対策の推進	市民安全課	自治会による自主防災組織の組織率	%	71.1	72.6	達成	良好とはいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・「自治会への避難行動要支援者名簿の提供数」について、気候変動などにより、自助、共助の必要性が高まる中、自力で逃げるのが困難な人へもサポートをより充実してもらいたい。
	市民安全課	自治会への避難行動要支援者名簿の提供数	組織	19	18	未達成		
	警防課	消防団訓練参加率	%	60以上	90	達成		
1-2 浸水対策の推進	治水課	浸水対策達成率	%	68.2	67.9	未達成	良好	<ul style="list-style-type: none"> ・資料からも順調に浸水対策事業が実施されている状況が読み取れ、事務局からの補足説明も考慮すると、指標の数値が未達成であっても、施策としては順調に推移していると評価できる。

基本施策	担当課	指標名	単位	R4目標	R4実績	達成状況	有識者評価	有識者コメント
1-3 防犯対策の推進	市民安全課	刑法犯認知件数	件	590以下	507	達成	良好	
	市民安全課	市内一斉パトロール延べ参加者数	人	1,497	1,973	達成		
1-4 消防力の強化	警防課	災害出動覚知から現場まで8.5分以内の到着できた割合	%	68.4	62.1	未達成	概ね良好	・施策全体の指標としてはすべて未達成だが、外的要因によるものも多く、実施体制上大きな問題点があるとは見受けられない印象。
	警防課	住宅火災による死者数※放火自殺者を除く	人	0	1	未達成		
	警防課	救命講習年間受講者数	人	5,958	3,222	未達成		
	予防課	消防用設備等の点検報告率	%	55.8	54.3	未達成		
1-5 交通安全の推進	市民安全課	交通事故による死者数	人	3以下	2	達成	良好	
	交通政策課	交通事故の発生件数	件	241	212	達成		
5-3 公共交通の利便性向上	企画政策課	JR成田線の1日の往復本数	本	42	40	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ・「JR成田線の1日の往復本数」について、減便している他路線の状況を鑑みれば、現状維持でも頑張っている方だという印象を受ける。 ・ホームドアの工事が順調なことや、新型コロナの影響で減少したあびバスの利用者も戻りつつある状況なども考慮し、施策全体として低い評価にはならないのではないか。 ・高齢化社会の中で、市民の足となる鉄道やバスなどの公共交通を維持していくことは重要な課題であることから、新しい取組も含め引き続き頑張っていってほしい。
	交通政策課	JR常磐線駅ホームドアの累計設置数	基	0	0	達成		
	交通政策課	あびバスの延べ利用者数	人	207,869	178,279	未達成		
	交通政策課	市内バス停から乗車した印西市のふれあいバス延べ利用者数	人	16,841	15,296	未達成		
	企画政策課	東海道線との相互乗り入れ往復本数	本	1	0	未達成		
5-4 安全で快適な道路の整備	道路課	都市計画道路の整備率	%	59.4	59.4	達成	良好	
	道路課	道路瑕疵による賠償件数	件	4以下	2	達成		
	道路課	駅前広場等における道路アダプトプログラムの実施箇所数	箇所	7	6	未達成		
6-3 生活環境の保全	生活衛生課	地下水水質環境調査における環境基準達成率	%	83.3	70	未達成	概ね良好	・「地下水水質環境調査における環境基準達成率」では、基準値を超えた井戸があり、未達成となつてはいるが、むしろ生活環境に問題が生じないよう環境基準のモニタリングをしていくというところにこの指標の重要な意味があると考えられるため、引き続き適切に実施していただきたい。
	生活衛生課	市内の騒音環境基準達成率	%	81.5	83.3	達成		
効率的・効果的な行財政運営の推進	人事課	一人当たりの時間外勤務数	時間	112.2	113.1	未達成	良好	・「一人当たりの時間外勤務数」について、会計年度職員を増やして対応するとしても、正職員が減ればその分正職員一人ひとりにかかる負担が増え、結果的に時間外勤務が増える可能性についても留意すべき。
	財政課	経常収支比率	%	全国の類似団体の平均以下	88.2 (R3)	達成		
	財政課	財政調整基金の年度末残高	万円	標準財政規模の10%	326,700 (R3)	達成		
	収税課	市税(現年課税分)の収納率	%	98.76	98.95	達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	R4目標	R4実績	達成状況	有識者評価	有識者コメント
7-1 生涯学習の推進	図書館	図書館の年間貸出冊数	冊	985,773	924,715	未達成	良好とはいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館については、所管課のコメントから、新型コロナの影響を受けつつも、中高生向けにターゲットを絞った利用促進など、今後の施策展開によりさらに施設の利用率を伸ばしていくという意図が読み取れるが、公民館については、単に新型コロナが落ち着くことによる自然回復の見通しについての記述しかなく、方策についての考えは見えてこない。 ・施策全体の印象として、指標が未達成なのは新型コロナの影響もあり、致し方ない面もあると思われるが、今後状況が落ち着く中では、今一度生涯学習施設としての役割や利用促進の工夫について熟考していただき、さらなる拡充に期待したい。
	図書館	図書館利用の登録率	%	35.6	27.0	未達成		
	生涯学習課	我孫子地区公民館の年間利用率	%	61.0	56.8	未達成		
	生涯学習課	湖北地区公民館の年間利用率	%	45.5	42.4	未達成		
	生涯学習課	公民館学級・講座、出前講座の延べ受講者数	人	9,672	6,916	未達成		
	鳥の博物館	鳥の博物館年間来館者数	人	33,020	27,405	未達成		
市民とともに作る協働によるまちづくりの推進	市民協働推進課	市民交流を目的としたイベントの参加者数	人	2,657	1,147	未達成	良好とはいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・「近隣センターの稼働率」について、地区別によりかなり格差があるようだが、稼働率の向上も含めて、運用面で改善を検討すべき。 ・施策全体として、新型コロナ禍でもサービス提供を続けてきた頑張りには評価できるが、今後の人口減少社会の地域のコミュニティを応援していくために更なる頑張りには期待したい。
	市民協働推進課	市民活動ステーションの利用件数	件	6,805	4,549	未達成		
	市民協働推進課	自治会・町内会への加入率	%	70.6	69.0	未達成		
	市民協働推進課	近隣センターの稼働率	%	46.5以上	42.4	未達成		
	秘書広報課	市ホームページのアクセス数	アクセス	9,939,216	15,872,551	達成		